



APNIC報告

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター
IPアドレス課



APNIC Open Policy Meeting とは²

- アジア太平洋のインターネットコミュニティに影響する、IPアドレスの関連の技術、ポリシーについて議論するフォーラム
- 各種SIG、チュートリアル、APNIC総会などが開催される
- 誰でも参加可能(参加費は必要)
 - アジア太平洋地域に限らず、ARIN RIPE/NCCからも出席

SIGとは

- Special Interest Group の略
- APNIC、アジア太平洋地域のインターネットコミュニティに関わることをオープンに議論する場
- 誰でも提案、発表を行うことができる
- SIGでコンセンサスが得られたものは実施に移される。コンセンサスが得られない場合は、見送りとなる
 - ただし、提案された内容に対し検討のうえ再度提案を行うことは可能



第11回APNIC Open Policy Meeting⁴

- 2001年2月26日-3月2日Kuala Lumpurにて開催
(APRICOTと同時開催)
- 内容
 - APNIC's conference track
 - APNIC Training and tutorials
 - SIG
 - BOF
 - Hostmaster Consultation Session
 - APNIC 総会
 - APNIC の annual report
 - Open Policy Meeting 期間中に行われた SIG 等の報告
 - APNIC EC の選挙
 - RIR からの活動報告 等

今回のSIGのトピックス

- Address Policy SIG
 - /20 initial allocation/assignment について
 - CATV/xDSL のガイドライン策定について
 - IP-USERS Meeting 開催報告(JPNIC)
- IPv6 SIG
 - /48のエンドサイトの定義について(JPNIC)
- Data Base SIG
- Routing SIG



/20 initial allocation/assignmentについて

- 現在の状況
 - グローバルアドレスには、PA (Provider Aggregate) アドレス、PI (Provider Independent) アドレスがあり、APNICでは2つの分配基準は区別して取り扱われている
 - PAアドレスについては、レジストリより初期にアドレスブロックの割り振り (管理を委任) する際には、アドレスが必要な旨が証明されれば、最小割り振りサイズの /20 が割り振られている
 - PIアドレスの割り当ては、経路制御等の問題から、現在ではほぼ行われていない



/20 initial allocation/assignmentについて

- 提案内容(1)
 - PAアドレス、PI アドレスのアドレス分配基準を同一基準とする
 - 同じIPv4アドレスであるため、管理にかかるコストや管理基準は変わらない。そのため、割り振り割り当て基準も同一であるべきである。



/20 initial allocation/assignmentについて

- 提案内容(2)
 - 今後、PAアドレスの割り振り、PIアドレスの割り当てにおいて、申請者は/22 を使いきることを証明出来れば/20が分配される
 - 既に、/22を上位プロバイダからアドレスを取得している
 - /22を使い切れない場合は、割り当ては上位 ISP から割り当てを受ける
 - 適切なアドレス空間の管理を行う
 - 新しいアドレスを取得したら、x month 以内にリナンバする



/20 initial allocation/assignment について

- 結論
 - コンセンサスは得られた
- 今後
 - 次回の Address Policy SIG で改訂したポリシードラフトの報告
 - コンセンサスが得られればAP地域のアドレス空間管理ポリシーとなる
- JPNIC としての対応
 - AP 地域間で統一性が必要だが、IP-USERS 等でコンセンサスが得られてから対応する。そのため時間が必要である。
 - (KRNICからは、統一性が重要なので対応する旨のコメント)



CATV/xDSL のガイドライン策定について

- 前回SIGでコンセンサスが得られたこと
 - 審議基準のドラフトを作成のために WG を立ち上げて議論を行うこと
- 提案内容
 - JPNIC/APNIC/KRNIC/RIPE NCC/ARIN の5組織のレジストリの代表が参加し、割り当てポリシーや DB の登録ポリシーについてのパネルディスカッションを行い、ガイドライン策定に役立てる



CATV/xDSL のガイドライン策定について

- 結論

- 顧客:グローバルIP= 1:1 で割り当てることはコンセンサスが得られている
- 以下のようなラフコンセンサス
 - 初期の割り当てについては設備にて判断
 - 追加の割り当てについては実際の使用状況を見て判断



CATV/xDSL のガイドライン策定について

- 今後
 - WG 用のMLやMeetingを行い、審議ガイドラインの詳細を決定していく
 - 次回のポリシーSIGにて、本審議ガイドラインのコンセンサスを得る予定
- JPNICとしての対応
 - WGの議論に積極的に参加して、提案していく
 - 6月1日にJPNICにてWG Meetingを開催

JPNICからの提案・報告内容

- /48 IPv6アドレスを割り当てるエンドサイトの定義について
 - 前回のSIGでの決定事項
 - 当面の間の条件つきで、IPv6アドレスをエンドサイトに一律に/48を割り当てる
 - 提案内容
 - エンドサイトの定義が明確でないため、具体的にエンドサイトとはどの範囲をさすのか（組織か、会社か、ネットワークか）
 - 結論
 - IPv6のエンドサイトの定義については、引き続きメーリングリスト等で議論することになった

JPNICからの提案・報告内容

- IP-USERS の開催報告
 - 2000年12月の Internet Week 期間中に行った IP-USERS BOF の開催報告

参考情報

- 第11回APNIC Open Policy Meeting 情報
 - <http://www.apnic.net/meetings/11/index.html>
- 第12回APNIC Open Policy Meeting 情報
 - 2001年8月27日-31日 Taipei
 - 詳細
 - <http://www.apnic.net/meetings/index.html>